

## 各種健診等のご案内

健診等の日程は p.32  
町内イベントカレンダー  
をご覧ください。

町のホームページからでも  
確認できます→



乳幼児健診  
各種事業



各種健康診査

### <注意>

- ・乳幼児健診は対象者へ個別にご案内します。
- ・がん検診等を希望する方は、健診日の1週間前までに健康推進係へ申し込みください。
- ・特定健診やがん検診は、町内イベントカレンダー以外の日程でも受けることができます。

## 急病時・夜間の相談先

### ■救急安心センターさっぽろ

24時間・365日、看護師が相談に対応。受診可能な医療機関をご案内します。

・電話番号 #7119 または 011-272-7119

### ■こども医療でんわ相談

症状に応じた一般的な対処・助言を看護師等から受けられます。診断・治療はできません。

・受付時間 19時～翌朝8時

・電話番号 #8000 または 011-232-1599

### ■北海道救急医療・広域災害情報システム

緊急時に受診可能な道内の病院を24時間（年末年始などの連休も可）検索できます。

・フリーダイヤルは 0120-20-8699

・携帯電話からは 011-221-8699

・インターネット検索は <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

## 休日・夜間の受診先

### <休日・昼間>

日曜・祝休日は江別市内内科小児科休日急病当番をご利用ください。詳細は p.32 町内イベントカレンダーをご確認ください。

町のホームページからでも  
確認できます→



急病当番医

※医療機関の都合により、変更となる場合があります。最新情報は新聞紙上や救急安心センターさっぽろ、北海道救急医療・広域災害情報システムでご確認ください。

### <夜間>

### ■江別市夜間急病センター **内科** **小児科**

・住所 江別市錦町14-5

・受付時間 18時30分～翌朝6時30分（年中無休）

・電話番号 011-391-0022

### ■勤医協中央病院 **内科**

・住所 札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1

・受付時間 19時～翌朝9時（年中無休）

・電話番号 011-782-9111

## 近くの医療機関案内

診療時間は、町のホームページに掲載しています。少し遅い時間に診療している医療機関もありますのでご確認ください。

## 予防接種（個別） 実施医療機関

ご希望の方は、事前にお申込みください。

医療機関名	電話番号 (札幌市外局番 011)	予防接種							健診 特定健診・ 後期高齢者健診・ 肝炎ウイルス検診	
		5種混合・ 水痘・MR・ DT	小児肺炎 球菌・ B型肝炎・ ロタ	日本脳炎	子宮頸 がん	妊婦RS ウイルス	高齢者 肺炎球菌	高齢者 带状疱疹		
勤医協当別診療所	23-3010	●		●				●	●	●
さいわい内科消化器クリニック	27-7591							●	●	●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25-3151	●	●	●	●			●	●	●
田園通りさわぎき医院(予約はWEBも可)	25-2055	●	●	●				●	●	●
当別あんしんクリニック(予約はWEB)	27-8012	●	●	●	●	●	●	●	●	●
とうべつ内科クリニック	22-1313							●	●	●
とうべつ整形外科	25-5040			6歳～	●			●	●	
ふとみクリニック	25-3800								●	
北海道医療大学病院(札幌市北区)	778-7575	●	●	●	●			●	●	●

※小児科定期予防接種（子宮頸がん除く）は、江別市内の小児科6カ所でも接種可能です。  
※BCGは、当別あんしんクリニック及び江別市内の小児科6カ所でも接種可能です

## 予防可能な子宮頸がん～ワクチン接種と定期検診がカギ～

### 子宮頸がんとは？

子宮の頸部という子宮の入り口にできる「がん」のことです。子宮頸がんの多くは、異形成や上皮内がんを経て、がんに進じます。初期の段階では、自覚症状に乏しいですが、子宮の入り口にできるがんであり、検診で発見しやすく、早期発見・治療ができればその後の生活に影響が少ないことが知られています。

当別町の令和5年度の子宮頸がん検診受診率は10.3%で、全国15.8%と比較して低い受診率となっています。子宮頸がんは20代～30代で発症し、年間約3,000人の女性が子宮頸がんを命を落としています。予防接種と定期的ながん検診で予防ができることがわかっています。



### 子宮頸がんの原因

ほとんどの子宮頸がんはヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因であることがわかっています。HPVは男女問わず生涯に1度は感染するといわれている一般的なウイルスで、誰でも感染するリスクがあります。HPVに感染しても、多くの場合は自然治癒しますが、ウイルスが排除されず、感染が長時間続くと、一部の人にがんに進化する恐れのある、初期の細胞変化が起こり、数年後に子宮頸がんへ進行すると考えられています。

### 子宮頸がんを予防するには…

「HPVワクチン接種+子宮頸がん検診」が最も効果的です。

#### ①HPVワクチンの接種

HPVワクチンは、子宮頸がんの原因であるHPVの感染を予防するワクチンです。HPVは主に性交渉によって感染するため、HPVワクチンを性交渉経験前の10代に接種することが推奨されています。現在使用されている9価のワクチンでは90%程度の感染を予防できると考えられています。

令和8年度のHPVワクチンの定期接種対象者は、小学校6年生～高校1年生相当の女子(平成22年4月2日～平成27年4月1日生まれ)となっており、無料で受けることができます。

#### ②子宮頸がん検診

子宮頸がん検診とは、がんになる前の細胞や、がんの早期発見を目的とする検査です。一般的には、子宮の入り口部分の表面をやわらかいヘラやブラシで軽くこすって細胞を採取して調べます。子宮頸がん検診は、20歳を過ぎたら、2年に1回の検診を受けましょう。



▼問合せ 保健福祉課健康推進係(ゆとろ内・☎23-4044)

広 告

広 告

広 告